

- 宮川昼田地区・たまき水辺の楽校は、水辺整備によって自然体験・環境学習の場としてせせらぎ水路や散策路、駐車場を整備し水辺の学習拠点として一体的な利活用を図るもの。
- 高水敷広場を活用した多目的な利活用(各種イベント、フリーマーケット、防災訓練等)による地域の魅力向上とともに宮川らしい景観を楽しめる場を創出することで地域活性化を推進。
- R元年4月末に完成し、地元国会議員、国土交通省、県議会議員、町長、町議会議員や関係者(水辺の楽校協議会等)が参列し記念行事を開催。

式典の概要

日時:令和元年5月25日(土) 13:00~14:30

会場:玉城町 昼田地先(たまき水辺の楽校)

主催:玉城町、国土交通省 三重河川国道事務所

出席者:三ツ矢憲生衆議院議員、辻村修一町長、県議会議員、町議会議員、地元関係者(水辺の楽校協議会等、行政関係者、中部地方整備局児玉河川部長、三重河川国道事務所長ほか)(計約50名)

マスコミでの 取り上げ状況

中日新聞(朝: 8面)、伊勢新聞(朝: 15面)

主なご発言

祝辞 三ツ矢衆議院議員



- 宮川らしい自然環境のなかで学習する場が新たに創出され地域活性化の場としたい。
- 国土強靱化対策とともに地域が必要としている整備についても私達も一生懸命サポートしていきたい。

地元代表挨拶 後藤下外城田小学校長



- 宮川が水辺に親しめる環境を整備して頂くことは大変ありがたい。
- 今後は、水辺の楽校の利活用を考えていきたい。

かわまちづくり 計画の概要

事業費: 3.1億円

完成: 令和元年4月



(主な整備内容)

- 【玉城町】駐車場整備、案内板整備、多目的エリア(いろいろ広場) 等
- 【国】階段状の護岸、せせらぎ水路(親水護岸)、飛び石、河川管理用通路(散策路) 等

挨拶 玉城町長



- 令和時代に入り、新たな町の拠点ができ、自然体験、環境学習の場ができた
- 先人の皆さんが努力して守ってきたこの地を地域活性化のために生かしてほしい

挨拶 児玉河川部長



- 宮川が氾濫しないように補強する河川敷の工事にあわせて護岸整備を行い親水機能の増強を図った治水整備を行った。
- 水辺とまちが一体となって楽しめる空間が創出され、多くの方が訪れ、活用されることを期待している。

■ 完成式会場(全景)



■ 祝賀行事会場(稚魚放流)



■ 祝賀行事(テープカット)



■ 関連イベント(玉丸城太鼓)

